

The ghost in the marsh

戦いの残照

※警告！この先はマスター以外では読んではいけません！

●シナリオの準備

このシナリオはTL1の時代において3〜4レベルの英雄4人程度で遊ぶように作られています。1レベルのキャラで遊ぶためには、①買える装備をTL2にまで拡充する、②ツヴァイの選択ルールにより、キャラ作成時に、英雄能力を1つだけ持たせる、などの強化を行ってください。

●シナリオの開始

シナリオは、ヴァッサマイン北西部の湖沼地帯からスタートします（シュペーアのさらに北です）。付属のマップを見てください。なお1マスは、通常の奏甲戦闘の標準ヘックスである、500メートルを表しています。

プレイヤー英雄たちは、沼の周辺に奇声蟲が出没するという手紙を受け取り、評議会から蟲退治のために派遣されたのです。成果があがらなくても10日は周辺のパトロールを行わなくてはなりません。

●デフォン村

人口400人ほどの村です。沼地の外れにあるため湿気が多く、そのせいか村人は病気がちです。それでも村が維持されているのは、周囲の地形が寒冷地での作物栽培に適していること、そして沼では、春になると特殊な花（銀月蓮。煎じて飲むと、トランス状態に入ることができ、歌術の行使に効果があるといわれています。）が採取できるからです。

●シナリオの発端（ヴィオレッタとの遭遇）

プレイヤーたちが村に到着すると、一人の歌姫が、待ちかねた様子で出迎えてくれます。この歌姫には、プレイヤーの歌姫とかぶっていないようなら、ヴィオレッタを使用してください（ヴィオレッタをプレイヤー歌姫として使用している場合、他の歌姫を起用してください。ヴィオレッタは次のように語ります。

村の北方の霧ヶ沼には、北方に通じるこのあたりで唯一の街道がありますが、最近、街道を通行中に蟲の奇声を聞いたものが何人も出ています。

霧深い沼のことで、姿を見たもの、襲われた者まではいないのですが、相手は複数いるようで、被害が出るのは時間の問題だと思われま。

犠牲者が出る前に、沼の蟲どもを退治していただきたいのです。

沼について尋ねると、沼は始終、霧に覆われていて、奏甲の行動には適さない（街道以外は、飛行奏甲やフォアロート、ヘルテンツァー・リミットでないと移動力半減）地形で、視界は常に2ヘックス先までしか届かないということが分かります（霧ラインの北側に限る）。また、

沼にまつわる情報（盾橋の向こうには旅人用の宿（金の蛙亭）がある、その側には打ち捨てられた古城がある、沼の西の丘には、昔、歌姫大戦のときに蟲が潜んでいた洞窟がある、など）を教えてもらえます。

また、交渉のスキル・チェックなどに成功すれば、「シュリュッセル」（アーカイアにある2つの月の一つ。もう1つは「トーア」）が満ちつつある間は、夜に沼に入ってははいけません」と述べます。

プレイヤーが村を訪れた時は月が欠けつつあるところで、新月まで4日あります。

●村・沼での調査

村で聞き込みをすると、ヴィオレッタと同じ話を聞くことができます。沼には亡霊が出るというのです。また、蟲の声はリーナス川の東側（マップでいうと右側）からする、ということがわかります。村人は「ホレ、川の西側には、あのお方がおられるから…」と言って口をつぐんでしまうばかりです。

機転を利かせて、子供に対して話を聞くと、沼からは歌声が聞こえてくることがあると教えてくれます。沼には魔女がいる、というのが子供たちの統一見解のようです（子供らは、悪さをすると、沼の魔女がさらに来ると脅されているようです）。

この時点で、沼を探索しても、実は何も出てきません。沼は一日で全域を探索できますが、蟲も、「あのお方」とも遭遇することは無いのです。城、洞窟、橋にも何もありません（マスターは城に、ちょっとしたイベントか戦闘をしかけても構わないでしょう）。蟲の足跡すら見つけることはできないのです。しかし剣橋（つるぎばし）のあたりでは朽ち果てた奏甲の残骸（先の歌姫大戦時のもので、全損して沼に沈んだもの）を幾つも見るができます。マスターはエアルの墓所（後述）で奏甲の残骸を見かけることにしても良いでしょう。

マスターはここで、沼かここまでの出来事について相性チェックを行うと良いでしょう。ただし、その後、村では2つのささやかな事件が発生します。

事件① ヴィオレッタの苦悩

プレイヤーが村についた直後から、ヴィオレッタは夜な夜な、正体不明の頭痛に悩まされることになります。夜、彼女を観察した者は（彼女の同意を得るか、彼女の寄宿している家に忍び込む必要があります。彼女は村に派遣されてきた歌姫なのです）、寝言を言いながらうなされていることがわかります。

近くにいた者は「エアル、私は何も知りません。彼らは蟲退治に来た、ただの英雄です…」「蟲を見たものはまだいないのです…私にはわかりません。お許しください」などというのを聞くことができます。起きてから尋ねても、彼女は何も覚えていないし、エアルという名前も知りません。

昼間は、時々、痛そうに眉間のあたりをおさえている彼女を見ることができるだけです。